

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成25年7月11日(2013.7.11)

【公開番号】特開2011-157450(P2011-157450A)
 【公開日】平成23年8月18日(2011.8.18)
 【年通号数】公開・登録公報2011-033
 【出願番号】特願2010-19213(P2010-19213)
 【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)
 C 0 9 D 17/00 (2006.01)
 B 4 1 J 2/01 (2006.01)
 B 4 1 M 5/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00
 C 0 9 D 17/00
 B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y
 B 4 1 M 5/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月28日(2013.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a)顔料、(b)ポリマー、及び(c)水から成る水性顔料分散液において、(a)顔料がカーボンブラックであり、(b)ポリマーの数平均分子量が6000~25000であり、(b)ポリマーが疎水性基及びアニオン性基を含有し、かつ、水性顔料分散液の表面張力が67 dyne/cm以上であることを特徴とする水性顔料分散液。

【請求項2】

(a)顔料、(b)ポリマー、及び(c)水から成る水性顔料分散液において、水性顔料分散液の表面張力が67 dyne/cm以上であることを特徴とする水性顔料分散液。

【請求項3】

(a)顔料が、平均一次粒子径が20 nm以下のカーボンブラックである請求項1または2に記載の水性顔料分散液。

【請求項4】

(a)顔料が、DBP吸油量が80 cm³/100 g以上のカーボンブラックである請求項1ないし3のいずれか1項に記載の水性顔料分散液。

【請求項5】

(b)ポリマーが疎水性基及びアニオン性基を含有する請求項2ないし4のいずれか1項に記載の水性顔料分散液。

【請求項6】

(b)ポリマーの数平均分子量が6000以上25000以下である請求項2ないし5のいずれか1項に記載の水性顔料分散液。

【請求項7】

(b)ポリマーが、モノマー構造単位として疎水性モノマー構造単位/アニオン性モノマー構造単位を5/95~95/5(モル比)の割合で有する請求項1ないし6のいずれか

1 項に記載の水性顔料分散液。

【請求項 8】

水性顔料分散液中に(a)顔料を 0 . 1 ~ 3 0 重量%含有する請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の水性顔料分散液。

【請求項 9】

水性顔料分散液中に(b)ポリマーを 0 . 1 ~ 1 . 2 重量%含有する請求項 1 ないし 8 のいずれか 1 項に記載の水性顔料分散液。

【請求項 1 0】

請求項 1 ないし 9 のいずれか 1 項に記載の水性顔料分散液を含むインク組成物。

【請求項 1 1】

請求項 1 0 に記載のインク組成物の液滴をインクジェットヘッドから吐出させ、該液滴を記録媒体に付着させることを特徴とするインクジェット記録方法。